CampbellCollaboration

Plain language summary
International Development

2018

農業の投入補助金は、投入財使用や収穫高および農場収入を増加させる

Photo: CIAT (2DU Kenya16) [CC BY-SA 2.0]

投入補助金は、投入財の利用を増やし、そしてより幅広い恩恵で農業生産性を向上させる

農業の投入補助金は、投入財使用や収穫高、農場収入を向上させる。しかし、このエビデンスの根拠は乏しく、限られた数の計画および諸国から得られたものである。

これは何のレビューなのか？

改良された種子と無機質肥料をより多く活用し、機械化が増えることは、低･中所得の国々のいくつかにおいて、農業生産性を高めることができるかもしれないが、しかし、投入財への助成が、これらの使用を促す効果的な方法であるかどうかについては、意見の相違がある。

このレビューは、農業生産性、受益者の所得と福祉、消費者福祉、そしてより広範な経済成長における投入財補助金の影響に関するエビデンスを検討する。

このレビューの主な発見は何であるのか？
何の研究が含まれているのか？

肥料と種子の補助金は、これらの投入財の使用、農業生産高、農家の収入の向上に関連しているが、しかし、貧困への影響についてのエビデンモは限られたものである。補助金制度が無駄になり、バイアスや腐敗を生じさせるという多くのエビデセスがある。複数のモデルは、補助金の導入もしくは増加が、一般的な結果として、消費者やより広範な経済成長において良い効果もたらすことを示している。ただし、このモデルは、補助金の資金調達方法、世界投入財価格および受益者の選択(Targeting)の全てが予測結果について重要な影響を与えることを示している。著者らは、機械化の補助金について調査する研究を見つけることができなかった。

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューは、農業生産性、受益者の所得と福祉、消費者福祉、そしてより広く経済成長について、投入補助金の影響を調査する。このレビューは、(調査地の)大部分がアフリカサハラ砂漠以南における、15の実験的および準実験的研究と計算可能なモデルを使用する16の研究からなるエビデンスを要約している。

改良された種子と無機肥料をより多く使用すると、一部のLMICで農業生産性が向上できるであろうが、これらの投入財への助成がそれらの使用を促進する効果的な方法であるかどうかについては意見の相違がある。

Photo: SuSanA Secretariat [CC BY-SA 2.0]

このエビデンスはどれくらい最新のものか？

このレビューの著者らは、2013年までに発行された研究を検索した。このキャンベル系統的レビューは2018年5月に発行された。

キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

この要約について

この要約は、編者がキャンベル系統レビュー 2018. 4:David J. Hemming, Ephraim W. Chirwa, Andrew Dorward, Holly J. Ruffhead, Rachel Hill, Janice Osborn, Laurenz Langer, Luke Harman, Hiro Asaoka, Chris Coffey, Daniel Phillips 著「Agricultural input subsidies for improving productivity, farm income, consumer welfare and wider growth in low- and lower middle-income countries: a systematic review (DOI 10.4073/csr.2018:4)」に基づいて作成したものである。Tanya Kristiansen (Campbell Collaboration)がこの要約の再デザインおよび編集をした。この要約の作成のためのAmerican Institutes for Research(A I R)からの財政支援に感謝の意を表する。

このレビューの結果は何を意味するのか？

投入財補助金は、投入財の使用量を増やし、農業生産性を向上させることでより大きな利益をもたらすことができる。しかし、補助金制度の設計は、それらが望ましい農家に届き、そして投入財の利用を促進するかどうかが、その有効性にとってきわめて重要である。他の介入との比較における補助金の有効性には、更なる研究が必要である。

比較的少数の適切な研究もあったが、これらの結果のより広範な関連性を確保するには、サハラ以南のアフリカ以外の国で十分に実証された研究が必要である。混合研究法、理論に基づき影響評価は、さまざまな受益者に対するさまざまなレベルの補助金の影響を調査することに役立つ。シュミレーションモデル研究は、実験的および準実験的研究から得た厳密なエビデンスを活用することでより有用な補助金の比較を検討することができる。方法論的アプローチ、統計情報、および実装またはモデル化された入力補助金のタイプとサイズの報告には、より明確なことが必要ですある。

The Campbell Collaboration
info@campbellcollaboration.org
Phone: (+47) 23 25 50 00

Mailing address:
P.O. Box 4004, Nydalen
N-0403 Oslo, Norway

Website:
www.campbellcollaboration.org

EN-0182